



# 富士見市議会議員の 関野かねたろうの 議員活動報告



平成21年秋号 No.37

心機一転リニューアル！

つるべ落としの夕日に、秋の気配を感じる季節になりました。皆様におかれましてはご健勝にてお過ごしのことと拝察申し上げます。

いつも多くの皆様に読んでいただきありがとうございます。

37号より紙面を変えてみました。日本語の本来の基本スタイルは縦書きであるという視点から、このような紙面に変更しました。また、活字ばかりでなく、できるだけ写真などを多く取り入れ、肩のこらない、それでいて内容の充実した活動報告を目指してまいります。

これからも「心ふれあう安心のまちづくり」を目指して活動してまいりますので、皆様の暖かいご指導を賜りますようお願い申し上げます。

## 九月議会云報告

九月議会では決算議案を始め多くの議案が審議されました。主な議案をお知らせします。

### ・補正予算

地域に直接関係するものとして、水谷東2丁目集会所を始めとする6箇所の集会所トイレの一部洋式化のため、3丁目集会所の老朽箇所の修理費などが計上され、利用しやすさの向上が図られます。

また、防災対策事業では、地震洪水ハザードマップの作成費用、3丁目女性消防隊への防災機材貸与費など安心なまちづくりの充実が図られます。

道路修繕費では、水子地区の、いわゆる火の見付近の道路修繕費が計上されて、道路振動の改善が図られると思われれます。

小中学校費ではICT教育費

として、教員一人一台パソコン、校内ネットワーク、教育パソコンの40人学級対応のための増設などの費用、公民館関係では、地デジへの整備費などが計上されています。

その他では、住宅手当緊急特別支援事業、感染症等予防対策事業、保育所施設整備事業など4億円あまりの大型補正がされました。

私は質疑の中で、ICT教育費について効果的な予算執行がなされるよう問いただしました。教員のパソコン教育への知識充実の必要性、便利であるインターネットの危険性についての教育の必要性などを確認しました。この

ことは今後も一般質問などを通じて議論を深めて参ります。

※ICT情報通信技術のことで、ITと同義。国際的にはこの表現が一般的。

## 議△云報告(続き)

### ・20年度決算認定

一般会計、特別会計、企業会計など決算9議案は、本会議での総括質疑、決算特別委員会での詳細にわたる質疑が行われ、全て認定されました。

昨年決算特別委員長として決算審議を進めさせていただきましたが、今年には会派から選出した他の議員に、私の質問事項を託しました。

### ・その他の主な議案

図書館条例の一部が改正され、指定管理者制度の導入がされることになりました。公募した民間業者が公民館を運営することになりますが、図書館サービスが低下しないようにしっかりと監視してまいります。

陳情では市役所前の開発に関する5本の陳情が一人の方から出されましたが、全て不認定としました。一方、南畑地域に新たに駆け込み申請された墓地建設計画について反対する陳情が提出され、全会一致で認定しました。新たな墓地建設について、議会としても明確な反対の意志を示しました。

## 市政一般質問

今回は6月議会終了後に配布された、「富士見市行政経営プラン」を軸に今後の富士見市の市政運営について当局の考えを質しました。

プランには基本構想や実施計画にもとづき、各部署の主要施策について、施策の達成状況や達成目標について書かれています。ですから23年度からの第5次基本構想の検討が始まりつつある今、その内容は今後の富士見市にとって密接に結びついていなくてはならないという視点から質問をしました。

まず総括的に、国政に左右されない確固たる自治の礎を築くためにとして、プランの内容と第5次基本構想との結びつきについて、またプランにある市民協働の一助になるようにということから、市民にどのようなにこのプランが周知されているかなどについて質しました。

これらについては、施策の今後の方向性を整理する場合などに、プランの内容にある検証結果を踏まえ、

予算編成や計画策定に結び付けて生きたいとの答弁がありました。また、市民への周知は冊数が少ないために、公共施設での閲覧での対応となっているが、今後第5次基本構想策定の市民会議や出前講座でも配布していくとの答弁がありました。

次に各部署運営方針から何点か質問しました。

秘書広報課について、市民にわかりやすい情報戦略について尋ねました。とりわけ市の行政情報をマスコミに取り上げてもらうよう、年4回の市長記者会見を、月例にすべきではと問いました。

答弁では、記者クラブから月例は困難との回答をもらっている、こちらから出向いて市の情報を提供していくようにするとの回答がありました。

職員の人材育成については、21年度に定年退職する職員は33名で、内課長以上は17名、部長クラスは7名退職する。人材育成基本計画の実施が23年度とあるが、手遅れにならないよう急ぐべきではと質しました。

答弁では、人材育成基本方針の策定を進めている。現在は後継者育成を念頭に置いた人員配置や職員研修、女性登用などを推進し市役所力の最高値を進めているとの答弁がありました。

その他にコンピュータシステム移行による電子自治体への取り組み、自主防災組織育成、一般廃棄物処理基本計画見直し、公民館の老朽化対策などについて質しました。

この中で、自主防災組織についてはその組織育成への支援を要望いたしました。

また、公民館に関しては、地域の高齢化に向けた一部の回収ではなく、老朽化している保育所との一体化などを考慮した抜本的な対策をすべきではと質しました。

答弁では、公民館の耐用年数がまだあること、財政面からも困難であるとの答弁でした。

以上が一般質問の概要ですが、今後も皆様のご意見や要望を市政運営に反映すべく、また、自らの市政運営の効率化などについて質問して参ります。

## 上田埼玉県知事水谷東を訪れる

水谷東地域の安心安全の取り組みは、以前から市内ばかりではなく高い評価をいただいています。このたび知事のとことん訪問に選ばれて、視察を受けました。

私も常任委員会の終了後に水谷東に戻り、知事とお会いしました。かつて所属していた朝霞青年会議所の先輩でもあり、久しぶりに親しく話をさせてもらいました。



## 会派研修の報告です

・視察研修として、北名古屋市では富士見市でも制定を目指している、「議会基本条例」について、多治見市では財政の効率的運用を全国で始めて条例化した、「財政健全化条例」について研修してまいりました。

特に多治見市の研修では、富士見市から要望があり財政担当職員も2名参加しました。会派の研修に職員が同席するのは初めてのことでありますが、これからも機会があればお互いに研修しあっていきたいと思っています。

・市内研修としては、春の総合政策部に続いて、教育委員会に出向いて説明を受けてまいりました。

教育委員会の政策、学校教育や生涯学習など全般にわたり総括的に聴取し、質疑応答などのやり取りをしました。

今後は健康福祉部の政策について説明を受けますが、内外での研修を通じ、学んだこと、富士見市にとって必要と思われる施策は、積極的にこれからの富士見市の行政運営に反映させ、住み良いまちづくりを目指してまいります。

## ・ローカルマニフェスト推進地方議員連盟

先日、横浜情報文化センターで開催された、マニフェストサミット2009に出席して参りました。

私は、議員連盟の創立当初より会員となつています。この日は創立5周年の記念総会として開催されました。

元三重県知事の北川氏の司会により、神奈川県知事や横浜市長などにより、地方分権推進化における地方自治のあり方について議論が交わされました。



## 議会基本条例について

いま議会を市民の皆さんに開かれたものと改革していく手段として、全国多くの議会が議会運営の憲法といえる「議会基本条例」の制定が進んでいます。

富士見市議会でも私たち21・未来クラブを中心に条例制定の動きが始まっています。

これから議員各位による議論が始まろうとしていますが、私も制定に向け中心的な役割を果たしていくべく行動をしてみたいです。

## 水子地域のまちづくり情報

旧暫定逆線引き地域の市街化編入の手続きが停滞してしまっています。地権者の方々は今後の行く末に不安を感じているのではないかと思います。担当課としては全ての事務手続きを終え、後は関東農政局の会議を待っているとのことですが。

本来ならばすでに都市計画審議会等によって具体的な市街化に向けた新たな手続きが始まっている

わけですが、現在のところその兆しさも見えてきません。ご心配の皆さんも多いのではないのでしょうか。

しかしながら事務的な遅れのみという市当局の説明ですので、私も一日も早い具体的な進展に向けて、市当局をはじめ多くの方々に働きかけてまいります。

## ・富士見市議会議員としての所属

会派：21・未来クラブ

常任委員会：文教福祉常任委員会

議会運営委員会副委員長

志木地区衛生組合議会議員(議運委員長)

富士見市都市計画審議委員

## ・その他

富士見市商工会理事

水谷東地区社会福祉協議会顧問

水谷東一丁目町会顧問

柳瀬川いかだラリー実行委員会委員他

## ★発行責任者

富士見市議会議員 関野かねたろう

富士見市水谷東一-二-十

Tel 049-2555-0506

Fax 049-2555-0549

<http://k-sekino.com>